

WEEKLY SIGNAL

平成27年10月30日(金) 1297号

上田八木短資株式会社

来週の市場とレート予想

	11/2(月)	11/3(火)	11/4(水)	11/5(木)	11/6(金)
無担保O/N	0.030% ~ 0.125%				
銀行券	+ 100	休日	+ 1,000	ト ン	ト ン
財政他	△ 15,600		△ 19,000	+ 5,000	+ 2,000
資金需給	不 15,500		不 18,000	余 5,000	余 2,000
主な要因	国庫短期証券発行・償還(3M)			法人税・消費税・保険揚げ 普通交付税交付	
オペ期日	共通担保(全店) △ 1,100 CP等買入 △ 500 補完供給 + 300				
オペスタート	共通担保(全店) + 500 国債買入 + 12,100				
(日本)	税収実績(9月末)		日本郵政、かんぽ生命、 ゆうちょ銀行が東証1部上場 マネターベース(10月) 日銀営業毎旬報告 (10月31日現在) 消費動向調査(10月) 日銀が保有する国債の 銘柄別残高 日銀による国庫短期証券の 銘柄別買入額	日銀金融政策決定会合、 議事要旨(10月6,7日分) 日銀当座預金増減要因 (11月見込み)	黒田日銀総裁、 内外情勢調査会で講演 対外対内証券売買(前週分) 景気動向指数(9月)
(海外)	米 建設支出(9月) 米 ISM製造業景況指数(10月) 米 サンフランシスコ連銀総裁講演 欧 ユーロ圏製造業PMI (10月、改定値)	米 製造業受注(9月) 欧 ドラギECB総裁が講演 (フランクフルト)	米 MBA住宅ローン申請指数 (30日終了週) 米 ADP民間雇用統計(10月) 米 貿易収支(9月) 米 ISM非製造業景況指数 (10月) 米 イェレンFRB議長が下院金融 委員会で証言(銀行規制・監督) 米 フィッシャーFRB副議長が講演 欧 ユーロ圏総合PMI(10月)	米 新規失業保険申請件数 (10月31日終了週) 米 労働生産性(7-9月) 米 ニューヨーク連銀総裁、IMF 専務理事、FRB副議長が講演 欧 ECB経済報告 欧 欧州委員会、 経済見通し発表 欧 ドラギECB総裁講演(ミラ)	米 雇用統計(10月) 米 消費者信用残高(9月) 米 プレイナードFRB理事が IMFのパネル討論会に参加

【インターバンク市場】

無担保ターム物	予想レンジ
SPOT 1M	0.075 ~ 0.120
SPOT 2M	0.118 ~ 0.155
SPOT 3M	0.119 ~ 0.160
SPOT 6M	0.120 ~ 0.170

<インターバンク>

日銀当座預金残高は週初244兆円台から始まり、27日の国債・国庫短期証券買入オペ等の要因を受けて30日には247兆円台に増加し、越週した。無担保コールONは週初から0.07%台後半の出合いを中心に推移していたが、30日のONは月末初のGCレート低下の影響もあり弱含み、0.073~0.076%のレンジで取引された。その結果加重平均金利は0.074%となった。ターム物は、2W物で0.11%台後半の取引が見られた。28日のFOMCでは、「次回会合での利上げの適否について、雇用とインフレ率の進展を見極める」と表明し、12月の次回会合での利上げの可能性をにじませた。30日に行われた日銀金融政策決定会合では、金融市場調節方針の現状維持が8対1の賛成多数で決定された。また同日発表の「展望レポート」内で前年比の消費者物価上昇率(生鮮食品除く)が目標の2%程度に達する時期の見通しは「2016年度前半ごろ」から「同年度後半ごろ」に先送りされた。

【オープン市場】

NCD 3M	0.060 ~ 0.120
CP3M(a-1+)	0.065 ~ 0.085
TDB 3M	△0.010 ~ 0.000
現先(on/1w)	0.060 ~ 0.100

<CP>

今週は、月末週に当たり償還額は約1兆2300億円(月末日償還:9400億円)であった。それに対し、週を通じての新規発行額は約1兆2500億円と、期落ち(金融機関・ABCP除く)ほぼ同額の結果となった。ショートターム物中心の発行案件が多く、約8000億円が1M以内の発行であった。a-1格相当の3M物入札発行レートは、0.07%近辺~0.08%台後半での動きとなった。現先レートは、月末初(0.06%出合い)を除き0.070%近辺~0.100%程度で推移した。来週の期落ち額は、約5100億円となっている。5日に、CP買入オペ(3500億円)がオファー予定。

<TDB>

29日に国庫短期証券3M第566回債の入札が行われたが、最高落札レートは△0.0018%(前回債△0.0037%)、平均落札レートは△0.0037%(前回債△0.0044%)と前回債から利回りは若干上昇した。セカンダリーは3Mで△0.001%近辺の出合い。6M、1Yは目立った出合いは見られなかった。来月5日に3M、6日に6Mの入札が行われる予定である。

<レポ>

今週の足許GCは、週初0.06%~0.07%近辺で堅調に推移したものの、月末受渡のところでは、資金調達を手控える動きも見られたことから、レートは一時0.01%近辺まで低下。短国3Mの発行日である2日受渡では、0.075%~0.085%近辺まで上昇したが、週末は0.06%近辺まで低下し越週した。SCは40年8回債が27日の入札に向けてO/Nビッドが目立ったが、リオープン後のビッドは限定的だった。末初受渡しのO/N物は足許GCの影響もあり、ネガティブレートでの出合が一部見られた。目立った銘柄として、10年336回債が週を通してネガティブレートで推移した。また、10年340回債は週央以降O/Nビッドが目立ち、週末には△0.03%近辺の出合いも見られた。

本資料は投資環境等に関する情報提供を目的として作成したものです。本資料は投資勧誘を目的とするものではありません。有価証券等の取引には、リスクが伴います。投資についての最終決定は、投資家ご自身の判断と責任においてなされるようお願いいたします。当社は、いかなる投資の妥当性についても保証するものではありません。記載された意見や予測等は作成時点のものであり、正確性、完全性を保証するものではなく、今後予告なく変更されることがあります。